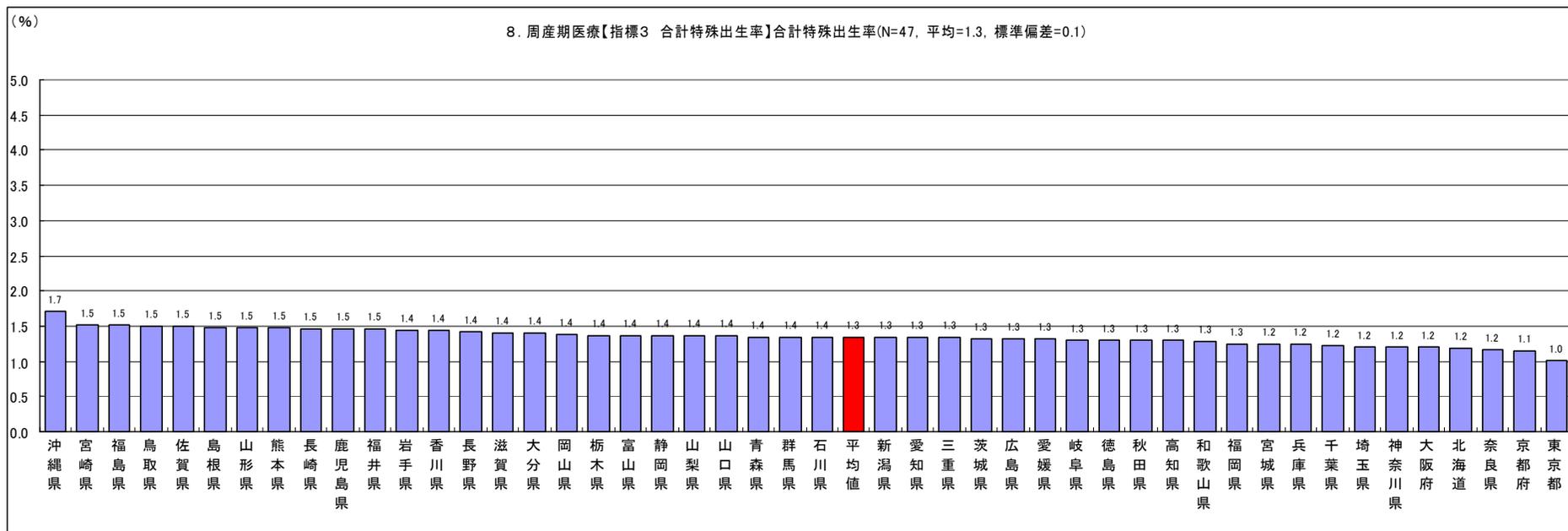
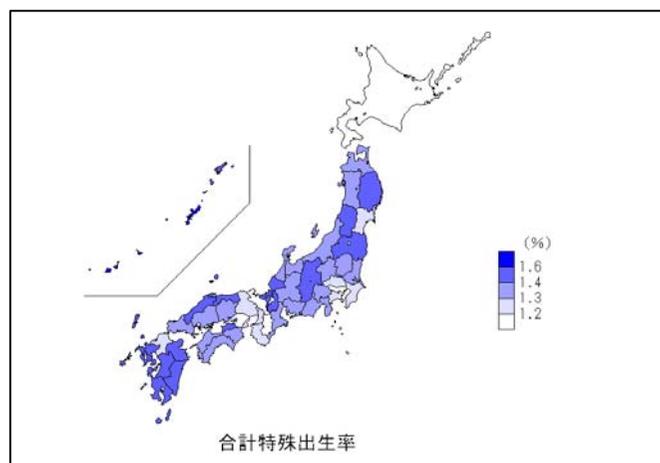


・ 周産期医療-3 合計特殊出生率

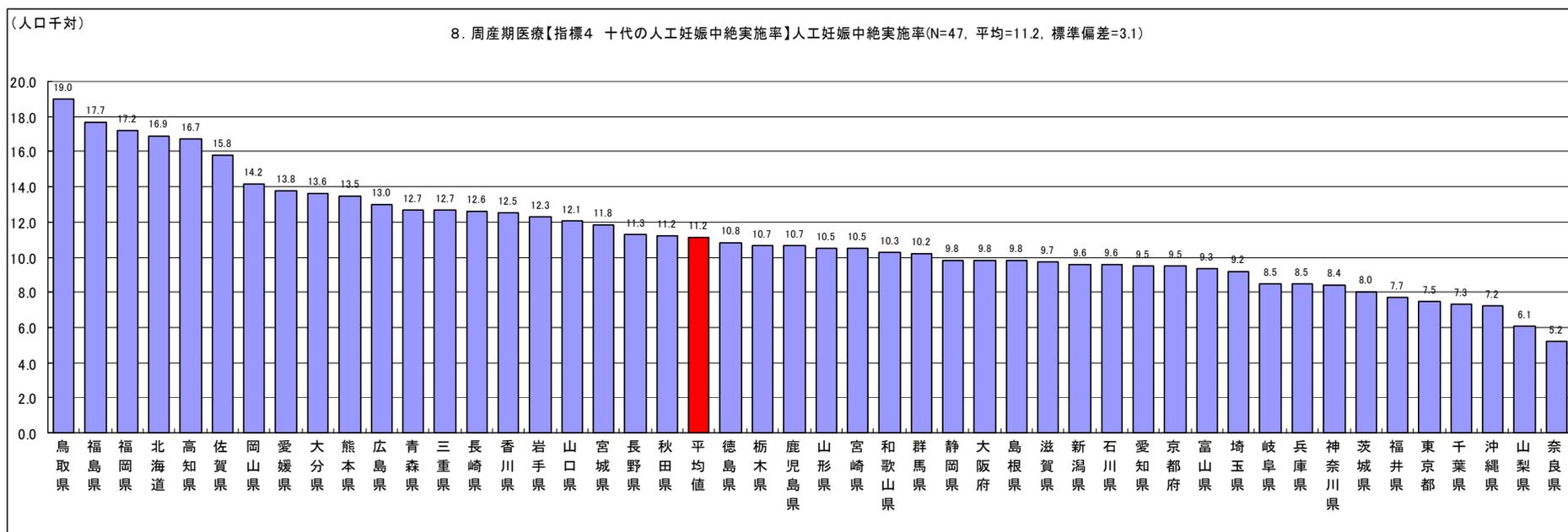


144

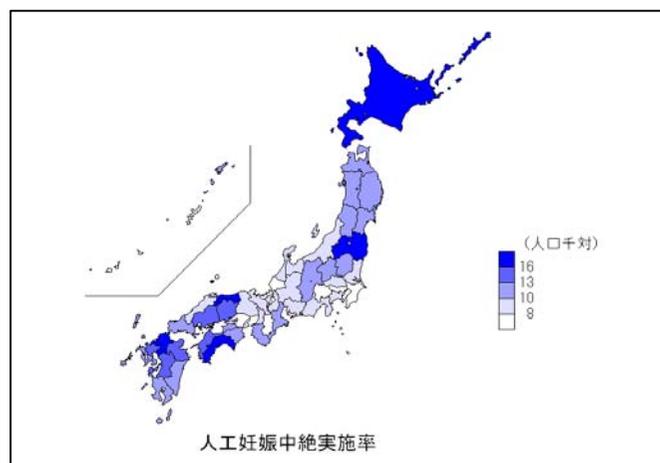


- ・ 「どのくらい多いか」(周産期医療の対象数)を把握するための指標として用いています。
- ・ 沖縄県が最も高く、東京都が最も低い結果です。平均値は1.3、標準偏差は0.1であり、全国的な変動の幅は小さくなっています。

・ 周産期医療-4 十代の人工妊娠中絶実施率

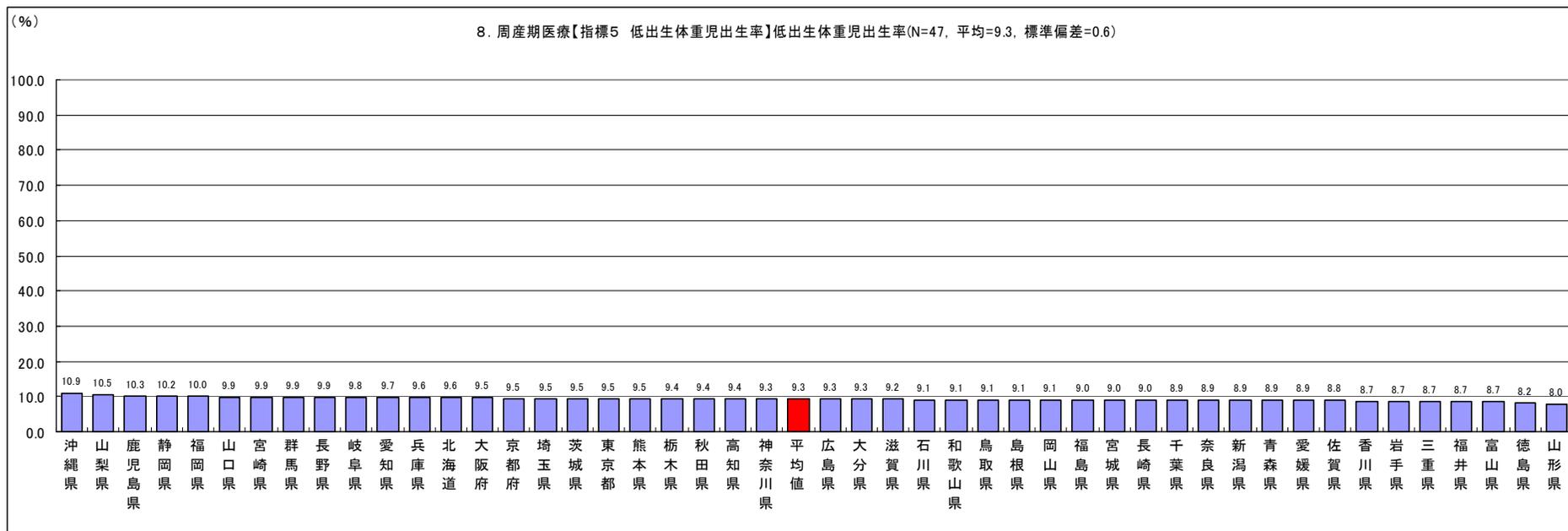


145

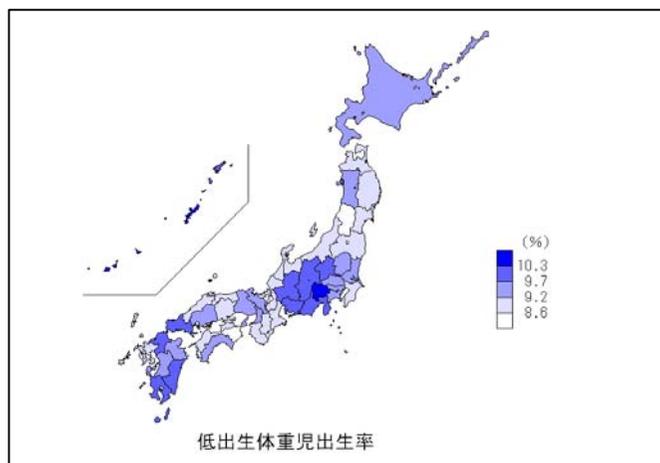


- ・ 「どのくらい健康に留意しているか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 鳥取県が最も高く、奈良県が最も低い結果です。平均値は11.2、標準偏差は3.1です。
- ・ 地域的な傾向は特に見られませんが、都道府県別のばらつきが大きいです。

・ 周産期医療-5 低出生体重児出生率



146



- ・ 「どのくらい健康に留意しているか」を把握するための指標として用いています。
- ・ 沖縄県が最も高く、山形県が最も低い結果です。平均値は9.3、標準偏差は0.6です。
- ・ 地域的な傾向として、東海地方の県が比較的高くなっています。